

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
1	意見等	構成機関	藤縄委員
			火災サージ → 火砕サージに修正
	理由等 (検討経過)	誤字の修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
2	意見等	構成機関	佐藤委員、三浦委員
			<ul style="list-style-type: none"> <li>修正後の記述で、福島県内にまたがるとあるが、修正前の記述のほうがよい</li> <li>「福島県内にまたがる」と記載があるのを「福島県内に影響を及ぼす」と修正すべき。</li> </ul>
	理由等 (検討経過)	表記の適正化 県をまたがる火山は吾妻山と那須岳であり、安達太良山と磐梯山は県をまたがらないため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
3	意見等	構成機関	佐藤委員
			過去の火山による被害：吾妻山5月19日、6月4日～8日 → 6月7日
	理由等 (検討経過)	死者が出た噴火は6月7日であるため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
4	意見等	構成機関	三浦委員
			「一切経山の水蒸気爆発」と記載があるのを「一切経山の水蒸気噴火」と修正すべき。
	理由等 (検討経過)	気象庁HP「火山に関する防災情報についての用語」では「水蒸気爆発」は原則として使用しないことになっている	

	該当箇所	ページ	該当項目
5	意見等	構成機関	福島地方气象台
			「2014（平成26）年12月～2016（平成28）年10月、2018（平成30）年9月～2019（令和元）年5月、」と記載があるのを「2014（平成26）年12月～2016（平成28）年10月、2018（平成30）年9月～2019（平成31）年4月、」に修正する。
	理由等 (検討経過)	表記の適正化	

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第1節 第1 2 (2) 安達太良山
6	意見等	構成機関	藤縄委員
		成層火山群 → 成層火山列に修正	
	理由等 (検討経過)	表記の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第1節 第1 2 (2) 安達太良山
7	意見等	構成機関	藤縄委員
		安達太良山の冒頭部分「北から箕輪山、～沼ノ平火口がある。」を「約55万年前から活動を開始し、およそ10万年ごとに活動期が繰り返されてきた。北の鬼面山、次いで南東の前ヶ岳基部が、そして約35万年前に前ヶ岳主部と、頂部を除く和尚山がそれぞれ形成された。25万年前頃に大規模な溶岩流が流出し、火山列の基部ができ、12万年前以降、数万年かかって火山列中央頂部の鉄山、胎内岩、障子ヶ岩などの火砕岩が噴出、堆積した。最新の火山活動は主に沼ノ平火口付近で発生している。」へ修正。	
	理由等 (検討経過)	表記の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第1節 第1 2 (2) 安達太良山
8	意見等	構成機関	藤縄委員
		1900年噴火の犠牲者は最新の調査結果によれば、「80名以上」とするのが現在のところ良い。	
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第1節 第1 2 (2) 安達太良山
9	意見等	構成機関	藤縄委員
		1997年の火山ガス事故についても記載してはどうか。	
	理由等 (検討経過)	提案	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第1節 第4 ②安達太良山及び第5章 第2節 第1 3 住民、登山者、観光客に対する周知・啓発
10	意見等	構成機関	福島地方气象台
		「火山性ガス」を記載があるのを「火山ガス」に修正してはどうか。	
	理由等 (検討経過)	近年では「火山ガス」の方が一般的であり、協議会策定の避難計画でもこの用語が使用されているため。	

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第2節 第1 1 避難計画等の策定
11	意見等	構成機関	福島地方気象台
		「各火山防災協議会は、避難開始時期、避難対象地域、火山活動が活発化した場合における避難対応、立入規制、情報伝達など具体的な防災対応について定める避難計画を策定する。また、仙台管区気象台は、具体的な避難行動と結びついた噴火警戒レベル等の運用について設定する。」と記載があるのを「各火山防災協議会は、避難開始時期、避難対象地域、火山活動が活発化した場合における避難対応、立入規制、情報伝達など具体的な防災対応について定める避難計画を策定するとともに、火山活動状況と具体的な避難行動が結びついた噴火警戒レベルについて設定する。」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	噴火警戒レベルは、気象台が単独で設定するものではなく、火山防災協議会で協議して設定・運用しているため	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第2節 第1 2 噴火警戒レベルの運用
12	意見等	構成機関	三浦委員
		「福島県内及び県に隣接する活火山」と記載があるのを「福島県内に影響を及ぼす活火山」と修正すべき。	
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第2節 第1 2 吾妻山、安達太良山、磐梯山の噴火警戒レベル表
13	意見等	構成機関	福島地方気象台
		レベル5、4、3の想定される現象等の「火災サージ」を「火砕サージ」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第2節 第1 2 安達太良山の噴火警戒レベル表
14	意見等	構成機関	福島地方気象台
		レベル1の想定される現象等の「一時的に300mまで上がる」を「一時的に噴気が300mまで上がる」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	レベル表に合わせた修正	

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
15	意見等	構成機関	福島地方気象台
		表下の注釈の「想定火口に近い所に位置する集客施設が含まれる地域を指す。」を「想定火口に近い所に位置する、または孤立が想定される集客施設を指す。」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	レベル表に合わせた修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
16	意見等	構成機関	福島地方気象台
		レベル3の想定される現象等の【過去事例】の「1900年7月17日：噴火、沼の平火口で水蒸気噴火。」を「1900年7月17日：沼の平火口で水蒸気噴火。」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	レベル表に合わせた修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
17	意見等	構成機関	福島地方気象台
		レベル5、4の想定される現象等の「融雪型泥流（積雪期）」を「融雪型火山泥流（積雪期）」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	レベル表に合わせた修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
18	意見等	構成機関	福島地方気象台
		レベル4の想定される現象等の、「または噴石が4km程度の範囲まで」と記載があるのを「または大きな噴石が概ね4km程度の範囲まで」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	レベル表に合わせた修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
19	意見等	構成機関	福島地方気象台
		レベル3の想定される現象等の、「山頂から2.5km程度まで」と記載があるのを「山頂から概ね2.5km程度まで」に修正する。また、過去事例「1881年：水蒸気噴火が発生」の「が」を削除する。	
	理由等 (検討経過)	レベル表に合わせた修正	

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
20	意見等	構成機関	福島地方気象台
			レベル2の想定される現象等の、「山頂から1.5km程度まで」と記載があるのを「山頂から概ね1.5km程度まで」に修正し、「(ごく小規模噴火含む)」を追加する。また、過去事例「1953年～」の2行目を1字下げ、「小規模噴火の発生が予想されるごく小規模の噴火」の「ごく小規模の噴火」を削除する。
	理由等(検討経過)		レベル表に合わせた修正

	該当箇所	ページ	該当項目
21	意見等	構成機関	福島地方気象台
			表下の注釈の「主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散するものとする。」と記載があるのを「概ね20～30cm以上の、風の影響をほとんど受けずに弾道を描いて飛散するものとする。」に修正する。
	理由等(検討経過)		レベル表に合わせた修正

	該当箇所	ページ	該当項目
22	意見等	構成機関	三浦委員
			「車内放送等その所掌業務」と記載があるがどの機関が行うどのような所掌業務なのかわからない。
	理由等(検討経過)		意味不明のため

	該当箇所	ページ	該当項目
23	意見等	構成機関	佐藤委員、三浦委員
			県災害対策課 → 北陸地整を災害対策課 → 阿賀川河川事務所にしてはどうか。
	理由等(検討経過)		吾妻山も安達太良山も福島県内の出先を優先に連絡しているので、磐梯山も統一すべきではないか。

	該当箇所	ページ	該当項目
24	意見等	構成機関	東北地方整備局
			県災害対策課から東北地方整備局への連絡系統を、県→東北地方整備局(本局)→郡山国道事務所という現在の修正案から、県→郡山国道事務所→東北地方整備局(本局)に変更する。
	理由等(検討経過)		吾妻山及び安達太良山の連絡系統と同様に、まずは火山近隣の事務所に連絡することで統一するのが望ましいため。

## 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

〔令和3年3月3日〕

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第2節 第3(1)
25	意見等	構成機関	福島地方気象台
		「福島地方気象台及び仙台管区気象台地域火山監視・警報センターは、」と記載阿があるのを「福島地方気象台、山形地方気象台（吾妻山のみ）及び仙台管区気象台地域火山監視・警報センターは、」と修正する	
	理由等 (検討経過)	吾妻山については、山形地方気象台も担当しているため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第2節 第3(1)
26	意見等	構成機関	福島地方気象台
		「24時間体制で観測・監視するとともに噴火速報、噴火警報等の情報を発表する」を「24時間体制で観測・監視するとともに噴火警報等の情報を発表する」に修正してはどうか。	
	理由等 (検討経過)	第3節 第2 1の項で噴火警報等の種類の中に噴火速報が含まれているため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第1(1) 県の活動体制
27	意見等	構成機関	福島地方気象台
		噴火警戒レベルを運用していない火山についても基準の設定が必要ではないか。	
	理由等 (検討経過)	提案	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第1(1) 県の活動体制
28	意見等	構成機関	福島地方気象台
		突発的な噴火が発生「噴火予報の段階で噴火速報が発表された場合」の記述が必要ではないか。	
	理由等 (検討経過)	提案	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第2 1 噴火警報等の種類
29	意見等	構成機関	福島地方気象台
		福島県別紙1のとおり修正	
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第2 2 伝達気象官署
30	意見等	構成機関	福島地方気象台
		噴火警報等の中に含まれている降灰予報は気象庁が発表することから、「気象庁地震火山部及び仙台管区気象台は、噴火警報等を発表し、福島地方気象台を通じて伝達される。」としてはどうか。	
	理由等 (検討経過)	提案	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第2 3 伝達系統 噴火警報等伝達系統図
31	意見等	構成機関	福島地方気象台
		伝達系統図中、福島地方気象台→東北地方整備局福島河川国道事務所、福島地方気象台→北陸地方整備局阿賀川河川事務所、福島地方気象台→福島海上保安部、福島地方気象台→NHK福島放送局放送機関の「◆」を削除し、県（危機管理総室）→市町村、市町村→地域住民登山者観光客に「◆」を追加するとともに、脚注の「※「◆」は、防災情報提供システム（送達報）を用いた情報伝達を示す。」を、「※「◆」は、火山現象警報、火山現象特別警報、火山の状況に関する解説情報（臨時の発表であることを明記したものに限り。）及び噴火速報が発表された際に、活動火山対策特別措置法第12条によって、通報又は要請等が義務付けられている伝達経路。」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	活動火山対策特別措置法に基づく修正 防災情報提供システムの更新に伴い、送達報は廃止されるため	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第2 3 伝達系統 噴火警報等伝達系統図
32	意見等	構成機関	福島地方気象台
		米沢市への伝達経路を、山形地方気象台からではなく、山形県→米沢市に変更する。	
	理由等 (検討経過)	実際の伝達ルートに記載する。	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第5章 第3節 第2 3 伝達系統 噴火警報等伝達系統図
33	意見等	構成機関	福島地方気象台
		脚注の、「※北陸地方整備局に対しては、新潟地方気象台から防災情報提供システムを用いた情報の伝達あり。」を、「※北陸地方整備局には、新潟地方気象台から伝達。」に修正する。	
	理由等 (検討経過)	活動火山対策特別措置法に基づく修正 防災情報提供システムの更新に伴い、送達報は廃止されるため	

# 福島県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年3月3日]

	該当箇所	ページ	該当項目
34	意見等	構成機関	福島地方気象台
			「噴火警戒レベル3に相当する噴火警報（入山規制）」を「噴火警戒レベル3に相当する噴火警報（火口周辺）」に修正する。
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
35	意見等	構成機関	福島地方気象台
			「噴火警戒レベル4に相当する噴火警報（避難準備）」を「噴火警戒レベル4に相当する噴火警報（居住地域）」に修正する。
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
36	意見等	構成機関	福島地方気象台
			「噴火警戒レベル5に相当する噴火警報（避難）」を「噴火警戒レベル5に相当する噴火警報（居住地域）」に修正する。
	理由等 (検討経過)	表現の適正化	